

受付

6.12.24

議会事務局
総務課

令和6年12月24日

京丹後市議会議員 様

会派名 翔和会

代表 多賀野 一彦

調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1. 日程 令和6年11月21日(木)
2. 場所
 - (1) 近畿中部防衛局 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎2号館
 - (2) 近畿地方整備局 大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎
 - (3) 京都府建設交通部 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
3. 目的
 - ① 山陰近畿自動車道の早期全線事業化に向けて、近畿地方整備局並びに京都府に対して要望活動を行う。
 - ② 緊急輸送道路に指定されている国道及び府道の整備事業について、事業主体である京都府並びにその財源支援を行っている防衛省に対して事業支援を要望する。
4. 該当する政務活動費の使途項目
要請・陳情費
5. 支出経費の内訳と金額 16,710 円
(内訳: レンタカー11,740 円、燃料代 2,590 円、高速料金 2,380 円)
6. 参加議員名
多賀野 一彦、山本 佑太、由利 彰基
7. 調査・研究成果の概要、所見
研究報告書 (資料1)

要請・陳情活動 成果報告書 (資料1)

日時 令和6年11月21日(木)

場所 (1) 近畿中部防衛局 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎2号館
(2) 近畿地方整備局 大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎
(3) 京都府建設交通部 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

要望先 (1) 近畿中部防衛局 池田 真人 局長
(2) 近畿地方整備局 田中 倫英 道路部長
(3) 京都府建設交通部 石井 宏明 部長

1. 要請・陳情の目的

- ① 山陰近畿自動車道の早期全線事業化に向けて、近畿地方整備局並びに京都府に対して要望活動を行う。
- ② 緊急輸送道路に指定されている国道及び府道の整備事業について、事業主体である京都府並びにその財源支援を行っている防衛省に対して事業支援を要望する。

2. 要望・陳情活動の内容

まず、近畿中部防衛局へ伺い池田局長に要望書を提出した。米軍経ヶ岬通信所の設置に伴い、本市の厳しい財政状況の中、再編交付金、民生安定施設整備事業や障害防止事業等として多額の交付金が農林水産業、教育、医療、防災等の事業費に活用させていただいている。これに加えて府道浜丹後線宮バイパス及び府道間人大宮線の大門橋が京都府の事業で完成し、住民の暮らしやすさ、安心安全にもつながっていることから感謝を伝えた。現在進行中の上野・平バイパスの早期完成と外村バイパスの整備をはじめ、仮称・屏風岩橋等、多くの防衛局の関連事業が住民の生活道路であることをお伝えし重ねて要望を行った。また、米軍基地内の隊舎整備されたことにより、何よりも良き住民という地域との繋がりという点でも地域貢献をさせていただいていることも感謝申し上げた。

次に、近畿地方整備局、田中道路部長へ要望活動を行った。地方は道路整備が遅れているところがある。特に山陰近畿自動車道はミッシングリンクが多くあるため、より道路に対する期待感はあるととらえていると伺いました。まずは現在進捗中の事業を遅れることなく確実に進めていくと力強い言葉をいただいた。防災の視点においては、国道178号、312号は様々な機能を持つ道路であることから、高規格道路整備の重要性が大きく求められている。最後に用地一部の取得ができていないことに対して、地域の理解

を得ながら国府との連携と地元からの力添えをお願いしたいとの共通認識を行った。

最後は、京都府へ行き、西脇知事宛の要望書を建設交通部石井部長に提出をした。京都府へは財政支援の要望に加え早期実現にお力添えを賜りたい旨をお伝えした。現在、大宮インター付近の工事が目に分かるよう進捗しており、国の直轄権限代行での一日も早い峰山インターまでの供用開始をしていただきたい旨を申し上げた。京都府からも現在進めている工事をはじめ、その先の道路計画がまだない箇所についてはまず、事業計画に乗せていく努力と前向きな答弁がいただけた。令和7年度から有料化となることが大きく今後、国の支援を取りに行けるかが重要になることも伺った。それに応じて本市としてのまちづくりのビジョンを具体的に明示できるようにしていく必要があるとも伺った。そして最後に県境からのアプローチと両府県が一丸となって下から突きあげていただきたいとの助言もいただいた。

3. 所見

- (1) 近畿中部防衛局では、米軍経ヶ岬通信所設置に伴い、府道浜丹後線宮バイパス、府道間人大宮線の大門橋が京都府事業で令和3年度末に完成し、その後も引き続きの整備が進んでいる。これに加え上野平バイパスは地元宇川地域の方々から早期完成の声を多く伺っており、しっかりと工事の進捗を注視していきたいと考える。また、国道178号「仮称屏風岩橋」の更なる要望も添えて意見交換を行った。このほかには府道網野岩滝線の外村バイパスの工事も橋梁や法線が分かるまで進捗しており、北部医療センターと結ぶ命をつなぐ道路であり、期待が大きくなっており地元としても大きな安心感につながる道路整備事業である。そして、道路だけではなく本市の公共福祉のためにも財源をいただき活用していることから重ねて感謝申し上げた。
- (2) 近畿地方整備局では、近畿道路整備局管内の道路整備も多くある中でもやはり、山陰近畿自動車道のミッシングリンクがある中、遅れをとっている場所であると再認識した。地方になればなるほど道路の重要性が防災や救急の医療面からも大きくなってくる。そういった面でも山陰近畿自動車道は本市のみならず日本海側をつなぐリタndanシーとして広域的な道路としての役割も大きく、地元の声や効果を理解していただいた上で、国として災害時を想定した積極的な事業展開に期待する。
- (3) 京都府建設交通部では、現在本市では多くの緊急輸送道路の整備と事業が進捗している。令和4年度には木津バイパス、野中バイパスが完成した。今年度は五箇バイパスの事業化もしていただき地元住民の安心安全につながるものとして感謝申し上げる。今後の要望活動においても熱意をもって積極的に行っていききたい。
山陰近畿自動車道の全線事業化に向けて、地元住民も一緒になって声を上げる必要がある。地元希望ルート帯の具体的な動きが見えてくる中、地域産業の振興や観光振興につながる道として自発的な動きが求められる。